

表 日・エストニア首脳会談要旨

| 内容 | 安倍首相 | ラタス首相 |
|------------|---|--|
| 冒頭 | <ul style="list-style-type: none"> ・2018年1月にエストニア訪問した際の温かいおもてなしに改めて感謝する。 ・基本的価値を共有する重要なパートナーであるエストニアは2020年から国連安保理非常任理事国、二国間関係強化に加え、地域・国際社会の課題についても率直に議論したい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2018年1月12日はエストニア独立100周年の始まりであるとともに、日本の首相が初めてエストニアを訪問してくれた日として記念すべき日だった。 ・今回の訪日では20社近いビジネス・デlegationが同行しており、日本とのさらなる協力を追求したい。 |
| 二国間関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済分野では、ビジネスミッションの増加、JETROおよびJBICの活動強化など、関係強化が目覚ましい。特にエストニアが世界最先端を走るICT分野での両国企業間の協力が顕著で、引き続き両国経済関係のさらなる強化に期待する。 ・サイバー・安全保障分野では、当局間の定期的な情報交換および協議に加え、2019年12月にエストニアで行われたNATOサイバー防衛演習『サイバー・コアリション』やエストニアに所在するNATOサイバー防衛協力センターに防衛省職員を派遣、こうした取り組みを通じて、サイバー・安全保障分野のさらなる強化に期待する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTやサイバー分野は日本と真の協力が進められる分野であり、さまざまな経験を共有できると考えている。本日覚書を締結するエストニア企業も、エストニアの情報共有システムを構築した企業である。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・両首脳は、3月から開始されるワーキング・ホリデー制度の導入を歓迎し、同制度を通じて、両国の若者がお互いの国を知り、両国国民の人的交流が進むきっかけとなることへの期待を表明。 | |
| 国際場裡での協力など | <ul style="list-style-type: none"> ・国連安保理非常任理事国としてエストニアとは国際場裡での連携を強化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・エストニアの安保理非常任理事国入りにおける日本の支持に感謝する。 ・エストニアは安保理改革を重視しており、日本の安保理常任理事国入りを強く支持する。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・安倍首相のバルト三国訪問時に創設した「日バルト協力対話」(注)を通じて、日バルト関係の強化および具体的な協力案件につながるよう引き続き連携していくことで一致。 | |
| 地域情勢 | <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア・欧州情勢についても幅広く議論し、連携して対応していくことを確認。 ・北朝鮮情勢について、北朝鮮の完全な非核化に向けて、引き続き緊密に連携していくことで一致したほか、安倍首相から、拉致問題の早期解決に向けた理解と協力を求め、ラタス首相の支持を得た。 | |

(注)2018年1月、安倍首相が日本の総理大臣として初めてバルト三国を訪問した際、幅広い分野での日本とバルト三国との間の協力を一層推進するため立ち上げることで首脳間で合意されたもの。

(出所)外務省「日・エストニア首脳会談」からジェトロ作成